

政策分野別課題検討の意見整理表

長計審⑧参考資料

○子育て分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
安心して子どもを産み育てられるまち	地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を支え合う体制の構築	虐待を受けた子どもが、保護された後大変困っている。また、虐待をした親に対してカウンセリングを行うなどサポートするシステムが必要ではないか	5	健康	介護・福祉	子育て世帯	発言
		子どもが成長すると同時に、親も成長する機会が提供されるような、地域の子育て支援センターとして、保育所などの施設のあり方を検討してほしい	5			子育て世帯	発言
		父親を巻き込んだ子育て支援策も重要であり、学習型ではなく、親子で身体を使うような講座が必要ではないか	5			子育て世帯	発言
		若い親にとっては、板橋子育て情報ブックにQRコードを付けるとより活用しやすいのではないか	5			子育て世帯	発言
		商店街活性化の観点からも、商店街と連携して開催している親子広場に対する支援を拡充してほしい	5	産業		子育て世帯	発言
		子育て支援者養成講座が充実しており、受講者を社会資源として活用することを検討できないか	5			子育て世帯	発言
	仕事と家庭の両立支援と地域性を総合的に勘案した教育・保育	待機児童数の把握については、認証、認可外、家庭的保育を含めた、実待機児童数をおさえるべきではないか	5			子育て世帯	メモ
		待機児童問題への対応として、国の対応を待たずに、区として保育士の待遇改善について取り組むべきである	5			子育て世帯	発言
		スマート保育事業、幼稚園の預かり事業を充実させ、乳幼児時期から小中学校まで一貫して安心して産み育てられるようにすることが求められる。	5	教育		子育て世帯	発言
		保育園におけるアレルギー、事故防止の質を高める施策が必要である。例えば、私立保育園との交流による切磋琢磨やノウハウの意見交換なども考えられる。	5			子育て世帯	メモ
		子どもをたくさん産める環境の整備が必要である	5			若い世代	発言
	区内で子どもを産み育てやすい環境整備と転入を促す施策	転入・転出の際に、他地域との比較は難しい。区外からの流入を推進した結果、あまりに人数が増えても十分なサービスを受けられないと思われる	5			子育て世帯	発言
		板橋区で生まれた子どもに対する政策と、板橋区に流入してきた子どもに対する政策、板橋区で産もうとする親のための政策という3つの視点で検討してはどうか	5			子育て世帯	発言
	子どもが安心・安全にすごせる環境の整備	児童館にあり方については、今後の児童館の機能や在宅子育て家庭への支援強化、中高校生の居場所づくりなどについて、長期的な視点から検討すべきである	5	教育		子育て世帯	発言
		あいキッズが全校配置され、さらに質の充実が図れることはとても望ましい	5	教育		子育て世帯	発言
		新あいキッズの運用について、制度開始前には説明の不足に対する不安が指摘されており、全面展開に際しては丁寧な説明が必要である	5	教育		子育て世帯	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		あいキッズから学童クラブ機能がなくなることによる不満が多く寄せられており、学童クラブとの機能の差について、改善が必要ではないか	5	教育		子育て世帯	発言
		放課後や休日の対応に関して、学校とあいキッズのさらなる連携が必要である	5	教育		子育て世帯	発言
		あいキッズの土曜日実施を検討してほしい	5	教育		子育て世帯	発言
	ワーク・ライフ・バランスの推進	経済格差の問題がある。認可保育園では、パートなどの短時間労働者は点数が低い ため入ることが難しく、保育費用が高い状況にならざるを得ない	5			子育て世帯	発言
		男女ともに働き子どもを育てるためには、定時で帰宅でき、生活を楽しむことができる ゆとりが必要である。家庭生活を楽しめる環境づくりにも触れることが望ましい	5			子育て世帯	発言

○教育分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
未来を担う子どもの力を地域ぐるみで ぐくむまち	家庭・学校・地域における教育力の向上と連携	保・幼・小・中、皆が一貫しているというメッセージがより前面に出るとよい	5	子育て		子育て世帯	発言
		いきいき寺子屋とあいキッズが全校で実施されるのであれば、学校支援地域本部事業の地域コーディネーターの下で協働できるのではないか	5			子育て世帯	発言
		子どもの親と地域住民との新しい交流は地域活性化にも資するため、いきいき寺子屋事業に対する支援を拡充してほしい	5			子育て世帯	発言
		教員の支援として、教育支援センターの開設など望ましい方向に向かっているが、若手教員が増加する中で、教員研修などの充実や教員の多忙緩和が重要である	5			子育て世帯	発言
		教員のスキルアップが肝要である。授業改善だけでなく、ベテラン教員のスキルを若手教員に伝え育てていくことが最も重要な視点である	5			子育て世帯	メモ
		子どもが暗い側面を表に出せず、SNSなどによるいじめにつながる場合もある。いじめ防止の観点からも、子どもの暗い側面を理解できるような教員指導が必要	5			子育て世帯	発言
		いじめ対応、虐待対応に対して、教員の資質に差があると思う。教員が多忙ということもあるが、教員のメンタルヘルスに対するケアも必要である	5			子育て世帯	メモ
		地域で子どもの姿を見かけない。子ども会を活性化すべきではないか	5	子育て		子育て世帯	発言
		地域の活性化、一体感の創出、体力増進の観点から、駅伝、サッカー、バスケットボールなどの学校別対抗競技に取り組むべきである	5	健康	文化・スポーツ	児童・生徒	メモ
	子どもの学習習慣や学習意欲の向上	読書についての柱を計画に加えてほしい。特に読書アニメーションの活動を導入し、充実を図る必要がある	5			児童・生徒	メモ
	特別支援教育のように、すべての児童・生徒に個別支援計画を策定し、計画の内容を実現することが求められる	5			児童・生徒	発言	

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	安心・安全で魅力的な教育環境の整備	大規模校における教員の配置や教室の不足、いじめについても検討が必要である。統廃合を進める一方、大規模校に対して何らかの対策を検討してほしい	5			児童・生徒	発言
		単に小規模だから廃止するのではなく、適正な配置計画が必要である。板五中や志村三小は地域の努力で、生徒数がもう少し増加することを期待している	5			児童・生徒	メモ
		小規模校では、いじめが少なく、学習面へのサポートもきめ細かいといったメリットがあるため、財政的な観点からだけで統廃合を進めることは望ましくない	5			児童・生徒	発言
		学校の統廃合は、地域の問題として捉えるべきであり、児童数の減少への対応を行政に任せるばかりでなく、PTAなどももう少し積極的に動く必要がある	5			児童・生徒	発言
		小規模校からICT化を進めるなどのメリットを示すなど魅力あるプランを示すことで親や地域に対するPRができるとよい	5			児童・生徒	発言
		電子黒板やiPadの導入は、子どもにとって本当に意味のあるものとなるように研修してもらいたい。	5			児童・生徒	発言
		学校選択制によって、子どもの格差が出てきたと思う	5			児童・生徒	発言
	変化の激しい社会を生き抜くための力の養成	人生において、困難を乗り越え、生き抜く力は不可欠である。保・幼・小・中で少しずつ我慢と忍耐力を養うようなプログラムづくりが必要が必要ではないか。	5	子育て		児童・生徒	メモ
		少年補導員と行政との連携を深める必要がある	5			児童・生徒	発言
	特に配慮が必要な児童・生徒への支援充実	都立特別支援学校(小・中)で、副籍制度があり、地域の学校にも参加できる。特別支援教室との交流を含めて、小中学校での積極的な取り組みをしてほしい	5	介護・福祉		児童・生徒	メモ
		特別支援学級の生徒こそ電子黒板など多様な道具を活用し、学びやすくすることが大事。ICT化と特別支援教育を連携させる施策が重要である	5	介護・福祉		児童・生徒	発言
		経済的格差問題は子どもの入学後の教育条件にも影響する。就学援助など経済格差の問題を柱として位置づけるべきである	5	介護・福祉		児童・生徒	発言
		学校環境が多国籍化し、学校からの文書が読めない親が多い。教育委員会がある程度翻訳した文書を渡しているが、他言語がわかる人の支援が必要	5	文化・スポーツ		児童・生徒	発言
あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
世代を越えて住民同士が学びあい、人と人をつなぐコミュニティが形成されるまち	ライフステージに応じた学習機会の充実と環境の整備	図書館は生涯学習を支える重要な存在であり、施設のリニューアルや電子資料の充実など利用者に対するさらなる支援の充実が求められる	3			全区民	発言
		グリーンカレッジの講座をさらに充実すべきである。高齢者がどこでも学習できるよう、各地域への出前講座があってもよい	3	健康		高齢者	メモ
		生きていくために必要な知識として自ら選択できる多様な生涯学習項目を設定するとともに、高齢者の登用などにより、文化のまちづくりを展開すべき	3	健康		成人	メモ

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		中央図書館を含めた区内の生涯学習施設は老朽化が進み、利用者数減少の一因になっているのではないか	3			全区民	発言
		図書館の設備、所蔵図書等は他区の方が優れている。所蔵図書等の更新とインターネット利用環境の整備は、予算的にもある程度対応できるのではないか	3			全区民	発言
		図書館を児童・生徒の勉強の場として開放すべきである	3			児童・生徒	メモ
		24時間開放の新中央図書館を建設してほしい	3			全区民	メモ
		区内の大学図書館を区民に開放する方向で検討してもらってはどうか	3			全区民	メモ
		地域の生涯学習にかかわる人材の有効活用の観点から、学校で子どもを対象とした生涯学習を行うことも検討すべきである	3			児童・生徒	発言
		基本計画の達成状況は、施設利用状況から評価されているが、地域における学習活動や地域づくりについてめざすべき姿を明確に示す必要がある	3			全区民	発言

○健康分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
健康寿命の延伸をめざし、区民一人ひとりが健康づくりに取り組むまち	健康意識の高揚と正しい生活習慣の実践を促し、病気の予防と早期発見・早期治療を推進	板橋区として望ましい健康のあり方について、病気にならないことにとどまらず、例えば、いきいき暮らせていることを健康と呼ぶなど、考え方を構築すべき	3			成人	発言
		子ども、生産年齢人口、高齢者それぞれに対する健康増進に向けた取り組みを検討すべき	3	子育て	教育	全区民	発言
		たばこだけでなく、アルコールについても生活習慣病の予防の観点からの取り組みを検討すべき	3			成人	発言
		健康に関する講演会を小規模な地域単位で開催し、区民の健康に対する意識啓発が必要である	3			成人	発言
		健康は失ってから対策するのではなく、予防を超えて増進したり獲得するものだという考え方の普及・啓発が重要。健康マイレージなどのアイデアはどうか	3			成人	メモ
		がん検診の受診率向上に向け、区民検診と同時実施してはどうか	3			成人	発言
		医療費削減の観点から、板橋区として特に克服すべき病気を絞り、楽しく取り組めるスポーツと運動した施策を検討してはどうか	3	文化・スポーツ		成人	メモ
		都市整備事業を行う際、まちを歩いて楽しむというコンセプトを含め、景観に統一感を持たせるなど配慮があってもよい	3	都市づくり		全区民	メモ

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	子ども・女性の健康づくりの推進	定住化促進のため、保育や子育て相談を行う施設の充実とともに、子育て世代の女性の検診受診率の向上など、母親の健康管理に関する施策が重要である	3	子育て	教育	子育て世帯	メモ
		小学校の通常学級に通学し、困難を抱える発達障害の子どもを見つけて手を差し伸べることが求められている	3	子育て	教育	子ども	発言
		20年後の板橋区を担う子どもの教育は重要であり、健康教育や運動に関する子供向けプログラムの導入を検討してはどうか	3	子育て	教育	子ども	発言
高齢者が元気で活躍できるまち	元気な高齢者を社会の担い手として捉え、社会参画(就労・地域活動・社会貢献)を推進する体制づくりの推進	高齢者を一括りで捉えず、例えば、65歳、70歳、75歳と区切りをつけた施策の考え方が必要である	3	介護・福祉		高齢者	発言
		これからの超高齢社会においては、退職後も元気で暮らしている60歳代を社会の担い手として捉えることが重要である	3	子育て		高齢者	発言
		元気高齢者の就労や地域での活動をいかに支えていくかについて、具体的な施策を計画に盛り込むことが重要である	3			高齢者	発言
		シルバー人材センターのあり方の見直しや、65～70歳の高齢者の人材活用を図ってはどうか	3			高齢者	メモ
		介護認定を受けていない高齢者が健康維持・増進のための施設を利用しにくい	3	文化・スポーツ		高齢者	発言
	介護予防・認知症予防の推進	寝たきり予防の取り組みが重要である	3	介護・福祉		高齢者	発言
	健康づくりを推進する体制の構築	介護と医療の連携がスムーズに進むための仕組みを検討する必要がある	3	介護・福祉		全区民	発言
保育や健康の施策を検討する際、マネジメントの確立を念頭においた施策の検討が必要である		3	子育て		全区民	発言	

○福祉・介護分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるまち	ひとりぐらし高齢者又は高齢者のみ世帯が孤立せず安心して生活できる体制づくりの推進	高齢者の閉じこもりを防ぐため、商店街との連携や福祉のまちづくりによる仕掛けづくりなど、地域の見守りと併せて取り組むことが必要である	3	産業	都市づくり	高齢者	発言
		ひとりぐらし高齢者または高齢者のみ世帯に対する施策のあり方について、「孤立させない」ことが重要である	3			高齢者	メモ
		地域で高齢者を見守る活動に取り組むにあたって、個人情報の共有が課題である	3	防災・防犯		高齢者	発言
	認知症になっても地域で安心して生活できる体制づくりの推進	独居の認知症の方を専門的な観点からいかに支えていくかが重要である	3			高齢者	発言
		心身が衰えても安心して快適に生活できるような環境づくりに向け、ひとりぐらしの認知症高齢者を対象とした施策が重要である	3			高齢者	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	介護が必要になっても在宅で適切な医療や介護サービスが受けられる体制づくりの推進	家族介護や老老介護を地域の力でどのように支えていくかということは重要な論点である	3			高齢者	発言
		民生委員や地域包括支援センターの役割にも限界があり、支援が必要な高齢者を地域で支えるための地域住民に対する介護知識等の普及啓発が重要である	3			高齢者	発言
		地域住民が介護に関する専門的なスキルを身につけ、災害時にも対応できる地域力・介護力をはぐむことも一案である	3			高齢者	発言
		介護保険制度の改正によって、要支援者を対象とした取り組みを検討するにあたっては、今後の板橋区の地域力が問われている	3			高齢者	発言
	医療・介護の連携	介護と医療の連携がスムーズに進むための仕組みを検討する必要がある	3			高齢者	発言
	高齢期の住まいや経済に対する不安の解消	高齢者が年金だけで生活できるのかという経済的不安、住宅の不安についても検討すべき	3	都市づくり		高齢者	発言
		高齢期における住まいのあり方を考える必要があり、とりわけ団塊世代以降は自立志向が強く、ロボットやICTの活用も視野に入れるべきである	3	都市づくり		高齢者	発言
生涯を通じ、安心して住み続けられる福祉のまち	障がい者の地域移行と支えあいの推進	地方で生活する障がい者も多く、親の高齢化が進む中で親亡き後の悩みが絶えない。地域移行と言いながら、財源保障も十分でない中で、いかに支援していくのか	5			障がい者	発言
		障がい者と高齢者の世帯が安心して暮らせるまちづくりが必要である。親に何かあったときの障がい者の行き先として、区内にグループホームの整備が必要である	5			障がい者	メモ
		障がい者が65歳に到達することによって、介護保険が優先され、負担増とともにサービス低下が起きている課題に対する支援策を検討する必要がある	5			障がい者・高齢者	発言
		精神障がい者への対応が最も困難である。地域生活で周辺住民の安全も確保しながら、ノーマライゼーションを遂行するための施策が必要である	5			障がい者	メモ
		福祉園で事業・イベントを実施しているが、周辺の協力が必要だと思う。今後もできるだけ協力し、支援したいが、もっと区が間に入ってサポートしてほしい	5			障がい者	発言
		「障がい者の地域移行の推進」といっても、地域には障がいがある方の情報がない。個人情報保護の問題があると思うが、情報共有が課題である	5			障がい者	発言
		縦割りがシームレスになっていないことが最大の問題である。介護保険事業計画の中に障がい者計画を含めるべき	5			障がい者・高齢者	発言
	障がい者の就労の促進	障がい者が雇用されても給料が安く、自立した生活は困難である。給料を上げるための施策が必要ではないか	5	産業		障がい者	発言
		障がい児は、高等部卒業後、福祉就労か一般就労かという問題もあり、受け皿が少ない	5	産業		障がい者	発言
		障がい者を含めフルタイムで働くことが難しい方々も有用な労働力と捉え、すべての人が社会を支えていけるような組み合わせによる柔軟な仕組みづくりが大切	5	産業		障がい者・高齢者	発言
		身体障がい重度の方は就労困難で、発達障がい者についても地域とコミュニケーションがとれないなど様々な方がいる。発達障がい者の見分けにも気をつけるべき	5	産業		障がい者	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	発達障がい者(児)と家族への支援の充実	障がい児の子育てに関する教育を充実させることが必要である	5	子育て		障がい者	発言
		障がい児保育の充実とそれに向けた実態把握が必要である	5	子育て		障がい者	メモ
		障がい児家族の出産時におけるレスパイトは重要な問題である。赤塚ホームは手狭になっており、医療機関と連携して病院の空きベッドを使用できないか	5	子育て		障がい者	発言 メモ
		障がい児については就学前の障がいの早期発見・早期療育のための条件整備と専門性の強化が重要。加賀児童ホームが中心になっているが、さらに整備が必要	5	子育て		障がい者	発言
	生活保護受給者・生活困窮者の自立の促進	国民年金だけでは生活できず、家(資産)があることで生活保護も受給できない状況もみられる。区が強力にコーディネートして支援する必要がある	5			生活困窮者	発言
		貧困と子どもの学力に関連があることが明らかになっている。塾代の助成など子どもの未来をしっかりと築けるような施策を強化してほしい	5	教育		生活保護	発言
		生活保護世帯の子どもに対して、負の連鎖を断ち切るために、区施設を活用して地域の力を活かした無料塾を設置してはどうか	5	教育		生活保護	メモ
	孤立を防ぐネットワークの強化	孤立死・孤独死対策や災害弱者支援の取り組みは、行政の縦割りと個人情報保護の観点から、地域での情報共有が不十分。区の強力なコーディネートが必要	5	防災・防犯		障がい者・高齢者	発言
		民生委員の業務は増える一方で、十分な見守りは難しい。「ゆるやかご近所さん」制度などを充実し、地域力のアップを期待したい	5			障がい者・高齢者	メモ
		板橋区の個人情報保護に関する条例において、福祉に関しては個人情報利用の制限を緩和する方向で検討してほしい	5			障がい者・高齢者	発言

○文化・スポーツ分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
文化を活かし、楽しみ、つなぐまち	個性ある文化芸術を創造し、いざなう機会の充実	美術館と郷土資料館の来館者が減っているが、出張展示を行うことで展示物に触れることができる人も増えるのではないか	4			全区民	発言
	伝統文化・歴史的文化財の活用と継承	文化・芸能を保存・保全ではなく、創造性と芸術性の向上に行政が寄与するのか、寄与するならどのようにすればそれが実現できるかの議論が必要である	4			全区民	メモ
	文化芸術を育てる担い手の育成	心にゆとりを持たせるためにも文化活動が重要。担い手となる文化活動団体に対して、現在でも区から積極的に支援していただいているが、引き続きお願いしたい	4			全区民	発言
		文化活動を行う文化・国際交流財団のプロパー職員を増やすためにも、区と財団との関係を見直し、区民のサポート体制を構築することが必要である	4			全区民	発言
言葉や文化の違いを認め合い外国人とともに暮らすふれあいと活力のあるまち	友好・姉妹都市との交流促進	各所管で英語を話せる人が少なすぎることが、国際交流が進まない要因だろう。各課長は是非英語を勉強していただきたい				区職員	発言
	生活・コミュニケーション支援の充実	区民と行政職員が、英会話をもっと簡単に学べる制度や仕組みが必要である	4			区職員	メモ

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分	
誰もが、いつでもどこでもいつまでもスポーツを楽しみ、健康で心豊かに暮らせる環境とにぎわいを創出するまち	区民の誰もがスポーツへ親しみ参画することを促進	地域のスポーツ活動は高齢者に支えられる部分が多く、老人クラブなどとの協力体制が重要である	3	健康		高齢者	発言	
		スポーツ大会の開催にあたり、参加条件に「シニア・ジュニア・女性混合」といった項目を設けてはどうか	3			子ども・女性・高齢者	メモ	
		スポーツボランティアの資格制度を23区に先んじて行う	3			成人	メモ	
		医療費削減の観点から、板橋区として克服すべき病気を定め、楽しく取り組めるスポーツと連動した施策を検討してはどうか【再掲】	3	健康		成人	メモ	
	運動しやすい環境の整備と体育施設の効果的・効率的な活用		石神井川流域などで安全にウォーキングやランニングができるようにするなど、区民に身近なスポーツ環境整備に力をいれるべきである	3	健康		全区民	メモ
			学校開放が制限されており夜間貸出が行われていない場合があるほか、公平性の観点から、施設が空いていても借りることができない場合もある	3	教育		全区民	発言
			夜間の学校開放は、路上駐車や車の出入り、利用者による話し声・喫煙など、近隣住民に対して迷惑を招く側面もある	3	教育		成人	発言
			学校開放時の防音対策のためには二重窓にするなどの措置が必要である	3	教育		成人	発言
			学校を中心としたインフラ開放の充実だけでなく、駐車場や倉庫、廃校、屋上などをスポーツ文化の場所としてもっと活用する	3			全区民	メモ
			高齢者も昼間は仕事があり、夜間の運動ニーズがあると思われるが、身近な公共施設で運動できる環境を整える必要がある	3	健康		高齢者	発言
			区民が24時間気軽にスポーツできる場を提供できないか	3			全区民	メモ
			区内の主要な体育施設の一部には観覧席などの設備が整っておらず、区内で観戦を通じたスポーツに対する区民の関心を高めることが難しい	3			全区民	発言
			体育施設の整備にあたっては、観覧席を充実させるなど高規格でなければ利用されない	3			全区民	発言
			国際試合を開催できるような魅力ある体育施設があれば、地域外からの集客も期待でき、地域活性化にもつながる	3			全区民	発言
	スポーツによる地域の活性化や一体感の創出		スポーツはするだけでなく、見る、支える、話す、聞くという様々なあり方があり、スポーツは文化であることを板橋区から発信していくことが重要	3			全区民	発言
			地域や学校でのスポーツへの関心を高めるため、学校対抗のスポーツ大会を開催してはどうか	3	教育		全区民	発言
			スポーツの文化性をEveryoneが享受できるまちづくりを進めるべきである	3	都市づくり		全区民	メモ

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		現役のアスリートだけではなく、引退した選手や今後活躍が期待される選手に対し、雇用や地域活動を支えることで、地域に密着したスポーツ振興につながる	3	産業		アスリート	メモ
		ジュニアの育成にもつながるため、プロスポーツなどへの支援は重要である	3			アスリート	発言

○産業分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分	
魅力的で個性ある商店街が形成され地域と協働するまち	地域コミュニティの担い手としての商店街の機能強化	商店街は買物の場だけではなく、健康、スポーツ、福祉、教育などの様々な観点から人が集まるためのアイデアを出すことが必要	4	健康	文化・スポーツ	全区民	メモ	
		大山ハッピーロード商店街では、フリースペースを活用し「地域活動サロン」や「親子ひろば」を開催しており、地域参加のきっかけになることもある	4	子育て	介護・福祉	全区民	発言	
		高齢社会を見据えると、商店街のバリアフリー対応が今後大きな課題となる。行政でのバックアップが必要である	4	都市づくり	介護・福祉	高齢者	発言	
	魅力的で個性ある商店街の再生		商店街は古い建物が多く、再開発が必要な商店街もある。さらに高齢者の万引き増加や、相続税の問題など商店街を維持していくための課題が多いので支援が必要	4			商店街	発言
			駅前商店街の経営が難しい中、商店街のイメージとそこに至る更新・改修に対する支援や規制など、ストーリーを持って施策を立案する必要がある	4			商店街	メモ
			下水管の工事に併せて電線の地中化や明るさを保てるような街路灯に対応していく必要がある。特に、オリンピックまでに、商店街の電線地中化に取り組むべき	4	都市づくり		商店街	発言
			地域ボランティアの方が空き店舗を活用して、史跡めぐりや区の名産・いっぴんなどを案内することなどで活性化すべきである	4			全区民	発言
			商店街に対して、NPO・ボランティアが空き店舗を高齢者や若い人が集まる場所などに活用できるような、多様なメニューを提示すべきである	4	子育て	介護・福祉	商店街	発言
	高い技術に支えられた中小企業の経営が安定し、「ものづくり」をはじめとする地域工業が発展するまち	創業しやすい環境の創出と産業集積の維持・立地促進	工場が次々と宅地に変わっている。規制することも、税の問題も含めて、工業を維持するための仕組みが必要である	4	都市づくり		企業	発言
			光学産業の技術力を評価するとともに、光学産業が集まる必要性を分析し、持続的な産業として発展する基盤や環境を戦略的に構築することが重要	4			企業	発言
区内で雇用を生み出すならば、知的水準も収入も高い方が都心からわざわざ来るような産業を育成する必要がある。どのような産業構造をめざすのが重要			4			企業	発言	
新河岸地域には、空工場・倉庫があるので、創業支援事業と連携して、最低でも3年間創業支援を実施し、育成した企業の流出を防ぐべき			4			企業	メモ	

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	企業経営の安定化と競争力の強化	多くの区内企業は、技術指導を行う余力がないため、技術指導を組織的あるいは制度的に定着させる仕組みを区として構築していただきたい	4			企業	発言
		町工場を退職した熟練の技術者をとりまとめて活用する仕組みを、理化学研究所と連携して取り組めると良い	4			企業	発言
		工業発展のためには、人材の育成と職員の健康維持が必須であり、人材育成の取組を区が斬新なアイデアでサポートすべきである	4			企業	メモ
		埼玉県では光学技術等特殊な分野に応用して世界有数の技術を持つに至った企業があるようである。板橋区でも、こうした研究開発が必要である	4			企業	発言
		医療機関は病院を含め充実しているので、健康増進産業のまちで有名にしていきたい	4	健康		企業	メモ
地域に親しまれる都市にふさわしい農業振興が進むまち	地産地消の推進	さつきフェスティバル等を開催しているが、さつきの育て方、剪定など板橋区独自で行っている技術の保存と区民への周知の徹底が必要である	4			全区民	メモ
		農地が活用されていると感じる人は10%であり、都市農地が果たす役割について、区民周知の徹底が必要である	4	教育		全区民	メモ
	貴重な緑としての農地保全と農業の継続・維持	都市農業についての要望は、相続税の減免と、今よりも狭い面積でも区民農園にさせてほしいという2点である	4	環境		農家	発言
		相続税の問題で大きな農家がなくなっている状況である。区が国から農地を買い戻すなど、農地を守ることが重要である	4			農家	発言
		農地をつくれれば良いという問題ではなく、品種改良も必要であり、作付け種類も検討する必要がある	4			農家	発言
		ふれあい農園会と農業委員会のイメージや雰囲気を変える必要がある	4			農家	メモ
		商業も工業も農業もすべて「振興」というのは、「あるべき姿」としては良いが、それを「施策」にすべておろすのは「欲ばり」ではないか	4			全区民	メモ
地域資源を活かした観光振興による魅力あるまち	集客力の高い魅力ある観光振興と「もてなしの心」で来訪者を受け入れる体制の整備	板橋は理化学研究所板橋分室を中心に産業都市として発展してきた歴史がある。これを区民にもPRしシンボルとして活用すべきである	4			全区民	発言
		スポーツ大使がいるので、観光大使も設置して、区全体として盛り上げていってはどうか	4	文化・スポーツ		全区民	メモ
		観光のターゲットが区民か、都民か、日本全体なのか、海外なのか不明確であり、明確化することがまず必要である	4			全区民	発言
		外国人が来てわかりやすい案内板の設置など、観光資源を有効活用するための取組が必要である	4	文化・スポーツ		外国人	発言
		固定概念に捉われていては気づかない魅力を外国人が感じていることもある。ターゲットを絞って本当の魅力について考えていただきたい	4	文化・スポーツ		来訪者	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
性別・年齢を問わない、誰もが働きやすいまち	女性や若年失業者等の雇用・生活の安定確保	女性の社会進出というが、その条件整備が不足している。特に看護師・介護人材不足は深刻。女性が持つ専門性、技術を発揮できるような支援体制をつくってほしい	4	介護・福祉		女性	メモ
		子育て中の女性はできるだけ子どもの近くで働きたいと思う。それに対する施策が現状ではキャリアカウンセリングしかなく、施策が高齢者や若年層のみに偏っている	4	子育て		女性	発言
		スマート保育に預けるまでもないような、在宅で子育て中の母親のため、板橋区独自の就労支援ができると良い	4	子育て		女性	発言
		区内にホテルが少ない。ホテルを誘致すれば就労面からも非常に効果があるのではないか	4			全区民	発言
	高齢者・障がい者に対する就労支援	区として就労機会を提供するためには、第三セクターの形で産業を誘導することが必要である。具体的には高齢者介護の事業所が考えられる	4	介護・福祉		障がい者・高齢者	発言
消費者被害のない消費生活の安心・安全なまち	消費生活情報の効果的な発信と意識啓発	消費者庁や都の消費生活センターとも連携を密にして、消費生活情報の機動的かつ効果的な発信に取り組んでいただきたい	4			全区民	発言
	消費者教育の推進	消費生活の課題解決に役立つ時機にあったテーマを取り上げることで、消費者センターで行っている消費生活講座を充実させていただきたい	4			全区民	発言
	消費生活相談体制の充実	トラブルが起きたときの消費生活センターでの相談体制の充実を図っていただきたい	4			全区民	発言

○環境分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
質の高い環境を創造する人と環境が共生するまち	快適で健康的な生活環境の維持・確保	大和町交差点などで大気保全に取り組み、改善しているが、そうした情報を区民に向けて可視化し周知していくことが大事	7			全区民	発言
		喫煙マナーアップの推進とあるが、禁煙だけでなく喫煙場所の確保についても配慮してほしい	7			成人	発言
	環境教育の推進と人材の育成	緑のカーテンの取り組みもかつてほどではない。重要な土づくりや剪定などを学校で教育することも含めて、強化してほしい	7	教育		子ども	発言
		質の高い環境を創造する担い手は現在の小・中学生である。学校教育の中で豊かな自然のすばらしさや「かたつむりのおやくそく」をもっとしっかり教えたい	7	教育		子ども	メモ
	「かたつむりのおやくそく」を合言葉とした3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	生ごみの排出量が年々減少しているが、継続的に区の広報誌などでコンポストの取り組みを取り上げて意識啓発を行ってほしい	7			全区民	発言
		区が実施するすべてのイベントであらかじめ計画さえすれば、事業で出るごみは資源ごみにできると思う。区が率先して取り組まなければ世間に認知されない	7			全区民	発言
		朝の公園清掃の落ち葉が大量の焼却ゴミになっている。循環を訴えるのであれば、堆肥にする方針を出すなど持続力ある施策が大切である	7			全区民	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	自然の恵みを活かした再生エネルギー利用の促進	今後10年を見据えると水素エネルギーの活用という視点が重要	7			全区民	発言
		エネルギー問題に最先端で取り組むまちづくりをしてほしい	6	都市づくり		全区民	メモ
	地球温暖化対策に配慮したまちづくり	現基本構想には盛り込まれていない、「温暖化対策について配慮したまちづくり」にも言及してはどうか	6	都市づくり		全区民	発言
豊かな自然と美しい景観にあふれた快適な生活を創出するまち	緑・公園が充実した魅力的な環境の維持・創出	公園遊具の老朽化に伴う事故は全国的に発生しており、区の公園についても事故防止のための定期的な点検が必要	7			子ども	発言
		公園の木々が大きくなると子どもの様子が見えなくなり、下の方の木を伐採する必要がある。安全確保と景観のバランスが大事	7			子ども	発言
		マナーの問題はあるが、桜は地域にとって大切な財産である。地域によって受け取り方も違うようだが、景観と安全がどう共生できるかをみんなで考えていくことが大切	7	都市づくり		全区民	発言
		区民が緑に触れられる機会を増やすことがまず第一。景観要素は地域ごとに偏りがあり、緑に触れられる機会・ライフスタイルを5つのエリアに分けて具体的に考えるとよい	7	都市づくり		全区民	発言
		小学校の跡地が公園など緑地になれば区民の憩いの場になるのではないか	7	コミュニティ・区政経営		全区民	発言
		道路に面した広い土地の所有者に対する支援として緑化についての補助制度があれば緑化が進むのではないか	7			成人	発言
		保存樹木の所有者への管理費助成はごくわずかであり所有者の善意に依存している。もっと増やすべき	7			成人	発言
		公園の大木がいつのまにか伐採されており、町会へ連絡もない。「緑と文化」を標榜するなら、民家側に落ちた落ち葉も清掃するなど、緑の保全にもっと力をいれるべき	7			成人	発言
		区内の造園業者など専門家の意見も踏まえ、区が都市部で植える木のルールを積極的に検討し、全国的に発信していくべきだと思う	7			成人	発言
		石神井川の桜は植樹から80年近く経過している。調査して、桜の木を残す努力をしてほしい	7			全区民	発言
生物多様性の保全	自然生物のジャンルが抜け落ちている。板橋区には熱帯環境植物園、赤塚植物園、ホタル生態館、荒川の自然生態園もあり、しっかり取り扱う必要がある	7			全区民	発言	

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	水辺環境の保全・整備による自然との共生の促進	石神井川について、将来的には鳥が来るような美しい水辺のある川をめざした方がよい	7			全区民	発言
		荒川、新河岸川、白子川、石神井川の4つの川が流れているのが特徴なので、環境先進区として「親緑」「親水」の施策を打っていただきたい	7			全区民	発言
		区には、ため池公園と見次公園があり湧水が豊富だが、そのほとんどが下水に流れている。池に引き込むことができれば池も浄化されるので検討していただきたい	7			全区民	発言
		総理大臣賞を受賞するほど板橋区のビオトープの取り組みは先進的だったが、今では取り組む学校も少ない。継続力を持って取り組むことが必要	7			全区民	発言
	景観に配慮された美しいまちなみの創造	石神井川について、景観配慮も大事だと思うが、子どもの安全への配慮と対策も必要	7	都市づくり		全区民	発言
		木密地域の狭隘な道路整備は美しい景観形成にもつながる。消防車も入れないような道路は改善が必要	7	防災・防犯	都市づくり	全区民	発言

○防災・危機管理分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
事前対策の強化・徹底により、災害や犯罪等のリスクが低減され、安全かつ安心して暮らせるまち	自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上	高齢者は弱者であると同時に地域活動の担い手であり、日中も地域にいる元気な高齢者がこれから増える中で、そうした高齢者をうまく組織して地域力の核にしていく仕組みの検討が必要	6	健康	介護・福祉	高齢者	発言
		防災の体制を整備するためには、町会・自治会の住民防災組織の活動が重要	6	コミュニティ・区政経営		全区民	発言
		商店街の中で、テナント入居者や法人格を持った会社と、個人事業主が、防災・防犯の連携に向けた話し合いの場を持ち、実際に訓練する機会を設ける必要がある	6	コミュニティ・区政経営		成人	発言
		若い人や子育て世代が防災訓練に多く参加するよう、周知方法にも工夫が必要である	6			子育て世帯	発言
		訓練の前に、敷居の低い教育の仕組みと普及が必須。知識と意識づくりを子どもから高齢者に対して徹底する仕組みが重要。自助、共助、公助は、教育によって実現可能と考える	6	教育		全区民	メモ
		避難所は、実際には、住まいから最も近い学校が必ずしも指定されているわけではないようであるが、できるだけ近い所に避難するような現実的に検討する必要がある	6			全区民	発言
		各学校で年に一回避難場所の運営に関する防災連絡会を開いているが、開催時期が年度末に近い。重要なテーマでもあるため、年度初めから検討を行った方がよい	6	教育		子育て世帯	発言
		元気な方ばかりが防災訓練に出てきて、高齢者や障がい者の参加が非常に少ない。要援護者も参加する防災訓練を充実していくことが必要	6	介護・福祉	コミュニティ・区政経営	災害弱者	発言
	要援護者に対する実践に即した防災訓練は各地域の取り組みに温度差があるが、10年後にはどの地域でも実践的な訓練ができるようにすることが望ましい	6	介護・福祉	コミュニティ・区政経営	災害弱者	発言	

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		避難行動要支援者名簿を整備し、町会や民生委員と共有される予定だが、情報伝達がうまくいか、誰が誰を支援するのか、具体的な指針やシステムの構築が必要	6	介護・福祉	コミュニティ・区政経営	災害弱者	発言
		避難行動要支援者名簿への登録に同意しなかった人への対応を検討する必要がある	6	介護・福祉	コミュニティ・区政経営	災害弱者	発言
		災害弱者の所在がわかれば近隣住民が助けにかけつけると思うが、個人情報の問題がある。定年退職して時間に余裕のある人が増えるので、支援の担い手として活用すべき	6	介護・福祉	コミュニティ・区政経営	災害弱者	発言
		高層のマンションが増えているが、ライフラインが止まった場合の高層階の住民、とりわけ高齢者への対応についても検討が必要である	6			全区民	発言
		高齢者、障がい者の方は、火災警報器を持っていても、実際には適切に設置していないことが多いほか、家具の転倒防止の備えも不十分であるため、行政として支援が必要	6			災害弱者	発言
		火災報知器は一つの住宅に1個では不十分であり、各部屋に設置するよう働きかければ、減災につながるはずである	6			成人	発言
	危機管理・災害対応力向上と情報伝達体制の構築	行政が収集した情報を誰がどこに情報を伝達していくのか、体制を構築する必要がある。特に、防災無線放送は、冬の間、窓を締め切っていると音声が届かない場合も多い	6			全区民	発言
		近い将来、人口の4分の1以上が65歳以上、そのうち6割が75歳以上と推計されており、そうした状態を想定して情報伝達体制を構築することが必要	6	介護・福祉		高齢者	発言
		受援体制の整備（震災時の混乱を避ける）	6			全区民	メモ
		ビルやマンションの中では、乳幼児を何人も抱えて避難することは難しく、区のスマート保育事業においても留意が必要。小規模な保育施設についてもきめ細かな対応が必要	6	子育て		子育て世帯	発言
		小中学校を避難拠点として整備する際、エネルギーの自律性を高め、ライフラインが断絶した時にも対応できるよう、検討する必要がある	6	環境	都市づくり	全区民	発言
		災害履歴の積み重ねについての論点が不足している。冠水や火災、交通事故、犯罪が発生しやすい情報を蓄積すれば具体的に対策がとれ、災害の「見える化」につながる	6			全区民	発言
		災害時における子どもや女性への暴力は大きな問題。防災計画の論点に男女別のニーズの把握、ジェンダーの視点を取り入れることが大切	6	コミュニティ・区政経営	介護・福祉	全区民	発言
		中小零細企業のBCP策定（業務継続計画）と目標設定の徹底。震災時、最小限の損失で抑えることが大事	6	産業		中小企業	メモ
		BCP（業務継続計画）に加え、LCP（地域の市民の生活の継続のための計画）についても言及すべきではないか	6			全区民	発言
		AEDが整備されていても実際に使い方を知っている方は少なく、身近な場所で講習が受けられれば、理解も深まると思う。消防署の出張講習も活用できる	6	健康		全区民	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		施設のエレベーターに設置されたキャビネットボックスには、中に何が入っているのか、表に内容物の写真を示すと誰にとっても活用しやすいものとなると思う	6			全区民	発言
	地域が一体となった 犯罪抑止力の強化	地域のコミュニティカを醸成するような防犯体制の整備(杉並区で実施している花いっぱい運動)。地域で日中に花を世話していると、空き巣が少なくなった事例がある	6	コミュニティ・ 区政経営		全区民	メモ
		安全なまちがすべてに優先すると思う。防犯分野では「地域の目」が一番の抑止力になるので、スクールガード、見守り活動、その他任意パトロールなどを充実させたい	6	コミュニティ・ 区政経営		全区民	メモ
		防犯カメラは犯罪抑止だけではなく、防災対策上、雨風監視などにも役立つため、様々な目的で活用できる。防犯カメラの増設、維持経費助成を検討してほしい	6			全区民	発言
		青色パトロールカーは防犯に有効だと思うので台数を増やしてほしい。また、道路の夜間照明ももっと増やすか明るくしてほしい	6	都市づくり		全区民	メモ
	水害対策の強化	新河岸川は満潮時には流れが一回止まったり、極端な場合、逆流したりすることもあり、岩淵水門のような防災用の水門を整備すれば、近隣の地域も安心である	6	都市づくり		全区民	発言
		荒川のスーパー堤防は線路の架橋部分で決まっている。もう少し架橋を高くして、その箇所のスーパー堤防の高さを全体と同じにできるはずである	6	都市づくり		全区民	発言
		荒川氾濫時を想定したタイムラインを設定し可視化すべき	6	都市づくり		全区民	メモ
		博報堂作成のDVDで、水害シミュレーションを見た時、堤防はオーバーフローだけでなく、底部が崩れる水害があると知った。そのような水害も想定してほしい	6	都市づくり		全区民	発言
		どの地域でも雨水流出のリスクが高い。地球温暖化に伴い、歴史的な雨量記録を更新しているところが多く、従来のインフラでは対応できない箇所は、早急に改善する必要がある	6	都市づくり		全区民	発言
		坂の下などで局地的に雨水が溜まりやすい箇所には、豪雨にも対応できるような雨水浸透ますを設置できれば、被害が軽減されると思う	6	都市づくり	環境	全区民	発言
	災害に強い市街地整備の促進	崖線の地域の道路や住宅の現状などをしっかり実態把握した上で、将来的には各地域できめ細かく計画を策定してほしい	6	都市づくり		全区民	発言
		崖線のある地域は、災害時の危険が高く、家が密集して景観も悪い。将来的に、より安全で緑の残された地域として整備する必要がある	6	都市づくり	環境	全区民	発言
		一番怖いのは火災。火災に強い街づくりが重要	6	都市づくり		全区民	メモ
		阪神淡路大震災は大都会での震災について、一番教訓を残していると思う。火災よりも倒壊被害が多く、家が壊れると火災が起きやすくなる	6	都市づくり		全区民	発言
		「災害予防を強力に推し進める」ことをぜひ最優先で計画に明記してほしい。いかなる地震が来ても壊れない住まい、あるいは壊れにくい住まいづくりが基本	6	都市づくり		全区民	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		延焼遮断帯など、現在住んでいる人の犠牲の上で道路を建設するような大型開発ではなく、区民の住まいや生活道路への公的支援の強化こそ施策のあるべき姿だと思う	6	都市づくり		全区民	発言
		水道ネットワークに依存した消火活動には限界があり、地域では公園や再開発ビルの地下に貯水槽を整備する必要がある。これはビルの省エネルギー対策にもつながる	6	都市づくり	環境	全区民	発言
		地域別のあるべき姿や施策のあり方と、まちづくりの計画を策定してほしい。住民が地域の課題を把握することが重要である。その上で、初めて自助・共助の取り組みができるはず	6	都市づくり		全区民	発言

○都市づくり分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
誰もが快適に暮らせる魅力的なまち	地域特性を活かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりの推進	東上線の立体化に関して、大山地区のみの再開発ではなく、東上線沿線での一体的な取り組みが必要	6			全区民	発言
		東上線の再開発により商店街も活性化するはずであり、行政、議会、町会連合会の三者で、高架化または地下化に向けた検討を進めてほしい	6	産業		全区民	発言
		鉄道の連続立体交差事業は国や都による基準があり、鉄道事業者との協議により、整備に向けた合意形成が必要である。駅周辺のエリアごとにまちの将来像を定めることはよいこと	6			全区民	発言
		古からの商店街では1階のみが商店で、上の階が住居となっているため、街路灯があっても商店街が暗い。にぎわい創出のためにもある程度の明るさが必要	6	産業		全区民	発言
		高島平三丁目のUR分譲団地では、早晚建て替えが課題になる。それを視野に入れてプランづくりをしないと、10年以上先に対応できない	6			全区民	発言
		高島平のランドデザインは区が素案までつくってから地域に説明するという、いわゆるトップダウン手法になっている。その点が是正されるまちづくりの姿勢をあるべき姿に明記すべき	6			全区民	発言
		まちづくりは「物づくり」ではない。住んでいる人を犠牲にして新しいまちをつくるのではなく、今住んでいる人たちの住みやすいまちづくりを基本に計画作成段階から住民参画の保障が大事	6	コミュニティ・区政経営		全区民	発言
		道路も公園も高度経済成長に従って整備されてきたが、公共的な資産を生活者の視点から見てより使いやすくする「使いやすいまちづくり」の検討が必要	6			全区民	発言
		施設を活用しようとすると、経費がかかるため、人口減少を見通して壊すという視点も重要ではないか	6	コミュニティ・区政経営		全区民	発言

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
	駅周辺のコンパクトなまちづくりの推進	東武鉄道沿線の再開発を進める上で、整備区域をあまり広げずに、少子高齢化を見据えて集中的な投資が必要ではないか	6			全区民	発言
		箱モノは箱が悪いのではなく、コンテンツの問題。人口が少なくなっているため、効率的に人が多目的で集まる場所は必要。不要なインフラは減らし、取捨選択が必要	6	コミュニティ・区政経営		全区民	メモ
		買い物、教育、観光、文化、スポーツ、食など、健康とコミュニケーションをテーマにしたエイジフリーのインフラが、今だからこそあってもよい	6	健康	産業	全区民	メモ
	環境に配慮したまちづくりの推進	(再掲)現基本構想には盛り込まれていない、「温暖化対策について配慮したまちづくり」にも言及してはどうか	6	環境		全区民	発言
		(再掲)エネルギー問題を最先端で取り組むまちづくりをしてほしい	6	環境		全区民	メモ
	誰もが安全かつ、快適に移動できる交通環境があるまち	歩行者の安全の確保	高齢者の自転車事故が多発しているが、歩道か車道か、走る場所が分かりにくく、自転車が安心して走れる道路環境の整備が必要である	6			全区民
自転車にやさしい安全と健康のためのインフラ整備をしてほしい			6			全区民	メモ
交通の利便性の向上		新河岸や三園地域など、公共交通手段が全くない地域に対する新しい交通システムの確立(ボランティアによるワゴン車の運行等)	6			全区民	メモ
		環八など大きな道路を渡る高齢者が多くなってきている。駅周辺のコンパクトシティを支える交通手段として、コミュニティバスの拡充を求めたい。高齢者の自転車事故の防止にも資する	6			全区民	メモ
		三田線の延伸を考えたい。高島平地区の高齢者施設では、鉄道が一本なので人材が確保できない現状もある。人が集まりやすいまちづくりをしたい	6			全区民	発言
安心・安全で良質な住まい・住環境のあるまち		ファミリー世帯の定住化促進	高島平団地の高齢化について、空いた住戸に子ども世帯を住まわせてはどうか。独居高齢者の問題の解決に向け、3世代が同居できるような取り組みをしてはどうか	6	介護・福祉	子育て	全区民
	親世帯との近居を区が優遇するのは平等性に欠ける。メリットがあるのはわかるが、生活スタイルを誘導するのではなく、近居できない人に目を向けた施策を打つべき		6	介護・福祉	子育て	全区民	メモ
	URの賃貸住宅では、子が親と同じ号棟に引っ越してくる場合、家賃を優遇している。同様に、区外に出て結婚した人が子育てで区に戻ってくるような税制を検討してはどうか		6	介護・福祉	子育て	全区民	発言
	増加する空き家対策と活用	今後10年で人口が減少し、空き家は増える見通しのため、個人所有の空き家に対するガイドラインは必要。親と子どもの近居を促す税制などのメリットを付与するとよいのではないか	6	介護・福祉		全区民	発言
		空き家が増える一方で住宅建設が続き、過剰な住宅ストックは将来地域の重荷になると思われる。ストック活用の視点が大切	6			全区民	発言
		少子高齢化の中で、今後空き家の増加が考えられる。空き家バンクを設立し、需要と供給のバランスを図り、子育て支援等の視点をあわせもった基本構想が必要	6	介護・福祉	子育て	全区民	メモ
	住宅確保要配慮者への支援	サービス付き高齢者住宅はバリアフリー化、防災力・防犯力の向上にメリットがあり、区の住宅政策の中核として位置づけるべき。階段からの転落、お風呂での事故防止などに資する	6	介護・福祉		高齢者	発言 メモ
		高島平団地のような質のよい住宅は高齢化しても長く住み続けることができる。既存のストックをできるだけ活用したサービス付高齢者住宅が有効	6	介護・福祉		高齢者	発言

○コミュニティ・区政経営分野

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
女性も男性もともに働き育むことができるまち	DVの根絶	DVの背景については育った環境によるものもあり、それを直すことは難しい。単に暴力の善悪の問題ではなく、風土にも目を向けないと解決にならない	5	介護・福祉		成人	発言
		若い人へのデートDVの教育も大事なのではないかな	5	介護・福祉		若い世代	発言
	家事・育児等を行う世代の雇用促進	経済格差の問題がある。認可保育園では、パートなどの短時間労働者は点数が低いため入ることが難しく、保育費用が高い状況にならざるを得ない	5	子育て		子育て世帯	発言
		男女ともに働き子どもを育てるためには、定時で帰宅でき、生活を楽しむことができるゆとりが必要である。家庭生活を楽しめる環境づくりにも触れることが望ましい	5	子育て		子育て世帯	発言
自助・共助・公助の連携が進むまち	地域の課題を協働で解決するための多様な主体の連携強化	「地域のことはなるべく地域で」という方針のもと18地区で地域会議を発足させる動きがある。ボランティア講座の受講者リストなどがあれば案内を送ることもできる	7			成人	発言
		これまで町会に対して自由に意見を言える雰囲気ではなかった。地域会議が発足してそういう場が実現できることはよいこと	7	教育		成人	発言
		若い世代と一緒にってコミュニティをつくっていくことは大事。地域会議の単位を小学校区にわけてPTAが参加すれば、世代を超えた良いコミュニティができるのではないかな	7	教育		成人	発言
		地域力を増進するには、町会・自治会への加入を増やすことが大切。子どもを動員すれば若い親を巻き込むことが可能。特に、育メンを支持するプログラムを	7	子育て		全区民	メモ
		地域性を高めるのであれば、学校選択制が続いていると、地域が必ずしもPTAに結びつかないケースも多く、見直しが必要ではないかな	7	教育		全区民	発言
		大きな町会と小さな町会の規模の差が大きくなっている。地域に無理強いすることなく、集中的に地域課題を審議し解決していくことが前向きな姿勢だと思う	7			全区民	発言
		地域ボランティアで公園を整備する里親公園というものもある。これからはもっと行政が積極的に地域にお任せしても良いのではないかな	7			全区民	発言
		課題解決型のコミュニティ力の醸成を図る(例:杉並区では花の植樹を通してながら空巢No.1から脱却)	7			全区民	メモ
		事業者、ボランティアなど様々な地域の力をいかに引き出しマネジメントしていくかが重要で、行政職員のスキルアップに重点を置く必要がある	7			区職員	発言
	ボランティア・NPO活動の促進	ボランティアといってもただで良いということではなく、交通費やお茶代など、実費弁済費用を見込むことができれば、ボランティアの活動の幅が広がるのではないかな	7			全区民	発言
		有償ボランティアを基本として考え、力点を置いた方が多くの人が集まると思う	7			全区民	発言
区のボランティア講座を受けたあとの仕組みづくりについても不足していると思う。この10年でそうしたところを強化できると良い		7	子育て	介護・福祉	全区民	発言	

あるべき姿	施策のあり方	委員意見要旨	回	関連分野1	関連分野2	主な対象	区分
		総合ボランティアセンターを機能強化できると良い。現状は一部分に偏っている印象を受ける。外部委託するには少し早すぎたかもしれない	7			全区民	発言
		コミュニティ基金の創設。有償ボランティアの理念は持続させるためには重要	7			全区民	メモ
人口減少社会に対応した区政経営が確立されたまち	行政サービスの民間開放と区民の協力	限られた税収でこなせるだけの仕事以上に行政の負担が大きくなり、自己負担分が大きくなることを区民にはっきりと伝えた方が良い。10年計画という観点からは明記した方が良い	7			全区民	発言
	情報公開とICT化の推進	オープンデータもビッグデータも、なぜ取り組むのかメリットデメリットが具体的に覚えていないことが、リスクに対する漠然とした怖さにつながっている。越えなければならない壁である	7			区職員	発言
	区と区民との協働の推進	地域の課題について集中して把握し、行政で解決できる問題か、区民との協働が必要な問題か仕分け、地域に示す。こうしたマネジメントを是非していただきたい	7			区職員	発言
		民生・児童委員は行政の要請で活動することが多々ある。活動途中は頻繁に連絡が来るが、解決後もフィードバックをきっちりとして、より強い絆で連携できるようお願いしたい	7	介護・福祉	子育て	区職員	メモ
	区職員の地域経営スキルアップ	地域別エリアマネジメント、協働の推進、委託化等についても、行政マンのスキルが根本。ICTの活用、地域の人材の活用、協働の推進はコーチング能力の向上が必要	7			区職員	メモ